

ごあいさつ……………3
Introduction……………4

企業における取組ポイント……………8

Part 1 企業事例編

先進 8 社の「休暇促進」ケーススタディ……………17

1. 日本システムウェア……………18
年 1 回・1 週間の連続休暇取得を全社員に義務づける「NSW ホリデイ」
2. MSD……………26
ライフサポートの充実を起点として休暇活動の幅を広げる
3. 三菱化学……………34
多彩な総労働時間削減の取り組みでメリハリのある働き方を促進、生産性向上を図る
4. NEC ソフト……………42
年次有給休暇の「取り方」の工夫を通じ、気兼ねなく休める環境づくりにつなげる
5. ダイキン工業……………51
徹底した労使の取り組みにより、計画的な休暇取得が職場に定着
6. ベネッセコーポレーション……………59
“よく生きる”の実現を目指す「ベネッセ休暇」
7. イケア・ジャパン……………67
社員にとって“快適な毎日”をビジョンに掲げ気兼ねなく休暇を取れる風土を醸成
8. 日立ソリューションズ……………76
社員の前向きな休み方を支援する「ポジティブ・オフ休暇」

Part 2 解説編

余暇が会社・社員・社会に及ぼす効果について
専門家はこう考える……………85

1. 働き方の見直しから健康づくりを考える……………86
東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野 准教授 島津 明人
2. 「ワーク・ライフ・インテグレーション」へ歩み出そう……………97
ピープルファクターコンサルティング 代表 高橋 俊介

Part 3 実態調査編

企業の休暇取得の実態と改善への課題を探る……………113

1. 企業にとっての休暇取得促進を図るメリット…………… 116
2. 2011年度の年次有給休暇取得率……………118
3. 人事担当者から見た自社の「年休の取りやすさ」……………119
4. 年休取得に対する管理職の意識と対応……………124
5. 自社の年休取得の状況について改善意向……………127
6. 年休取得の改善を図るための取り組み……………128
7. 年休取得に改善への取り組みを支援する手だて……………131